

議会だより

令和元年第3回5月臨時会において
議長に山上高昭氏、
副議長に井上正則氏選出

※議員名簿(2ページ)

議長



山上 高昭

副議長



井上 正則

総務企画委員会



委員長
松田 美由紀



副委員長
森 和也



山上 高昭



松崎 正和



中村 真一



原田 真光



神田 徳良



渡邊 知之

福祉文教委員会



委員長
河村 康之



副委員長
井福 大昌



岡部 和子



井上 正則



松崎 百合子



平田 不二香

都市環境委員会



委員長
平井 信太郎



副委員長
大塚 みどり



関岡 俊実



田中 健一



関井 利夫



福澤 信光

令和元年 第4回6月定例会 (予定)

6月 3日(月)10:00 ~ 本会議 提案理由説明
 6日(木)10:00 ~ 本会議 質疑・付託
 7日(金)10:00 ~ 各常任委員会 13日迄
 17日(月) 9:30 ~ 本会議 一般質問
 18日(火) 9:30 ~ 本会議 一般質問
 20日(木)10:00 ~ 本会議 報告・討論・採決

本会議・各委員会は傍聴できます。
みなさまの傍聴をお待ちしています。

主な記事

- ・ 5月臨時会 (臨時会) P2 ~ 3
- ・ 平成 31 年度当初予算 P4 ~ 5
- ・ 3月定例会代表質問 P10 ~ 12
- ・ 3月定例会一般質問 P13 ~ 17

大野城市議会議員名簿

[任期：令和元年5月1日～令和5年4月30日]

令和元年5月10日現在

	氏名	電話	F A X	予算	議運	会派	広報	所属会派	
議長 (総務企画委員会)	やまかみ たかあき 山 上 高 昭	自 596-5515 事 595-8154	596-5515					自民令和	
副議長 (福祉文教委員会)	いのうえ まさのり 井 上 正 則	596-7084	596-7084				◎	公明党	
総務企画委員会	委員長	まつだ みゆき 松 田 美由紀	577-0884	577-0884	☆	○		改革フォーラム	
	副委員長	もり かずや 森 和 也	596-8508	984-1384	☆	☆		自民令和	
	委員	やまかみ たかあき 山 上 高 昭	自 596-5515 事 595-8154	596-5515				自民令和	
	委員	まつざき まさかず 松 崎 正 和	596-0900	596-0900	☆			市民クラブ	
	委員	なかむら しんいち 中 村 真 一	501-5317	501-5317	○			自民まどか	
	委員	はらだ まさみつ 原 田 真 光	596-0417	596-0417			☆	自民令和	
	委員	かんだ のりよし 神 田 徳 良	595-2953	595-2953				公明党	
	委員	わたなべ ともゆき 渡 邊 知 之	503-5883	503-5883	☆		☆	自民まどか	
福祉文教委員会	委員長	かわむら やすゆき 河 村 康 之	574-4359	574-4359	☆	☆		公明党	
	副委員長	いふく だいすけ 井 福 大 昌	515-6678	515-6678				自民大野城	
	委員	おかべ かずこ 岡 部 和 子	591-6018	591-6018	☆		★	自民大野城	
	委員	いのうえ まさのり 井 上 正 則	596-7084	596-7084				公明党	
	委員	まつざき ゆりこ 松 崎 百合子	595-7037	595-7037				改革フォーラム	
	委員	ひらた ふじか 平 田 不二香	404-8870	558-5278			☆	自民令和	
都市環境委員会	委員長	ひらい しんたろう 平 井 信太郎	595-4516	595-4516		☆		自民大野城	
	副委員長	おおつか みどり 大 塚 みどり	595-2470	595-2470	☆		★	公明党	
	委員	せきおか としみ 関 岡 俊 実	574-6363	574-6363			★	改革フォーラム	
	委員	たなか けんいち 田 中 健 一	595-2712	595-2712	☆	◎	★	自民まどか	
	委員	せきい としお 関 井 利 夫	503-2123	503-2123	◎	☆	★	☆	自民令和
	委員	ふくざわ のぶみつ 福 澤 信 光	596-4321	924-8890		☆	★	○	市民クラブ

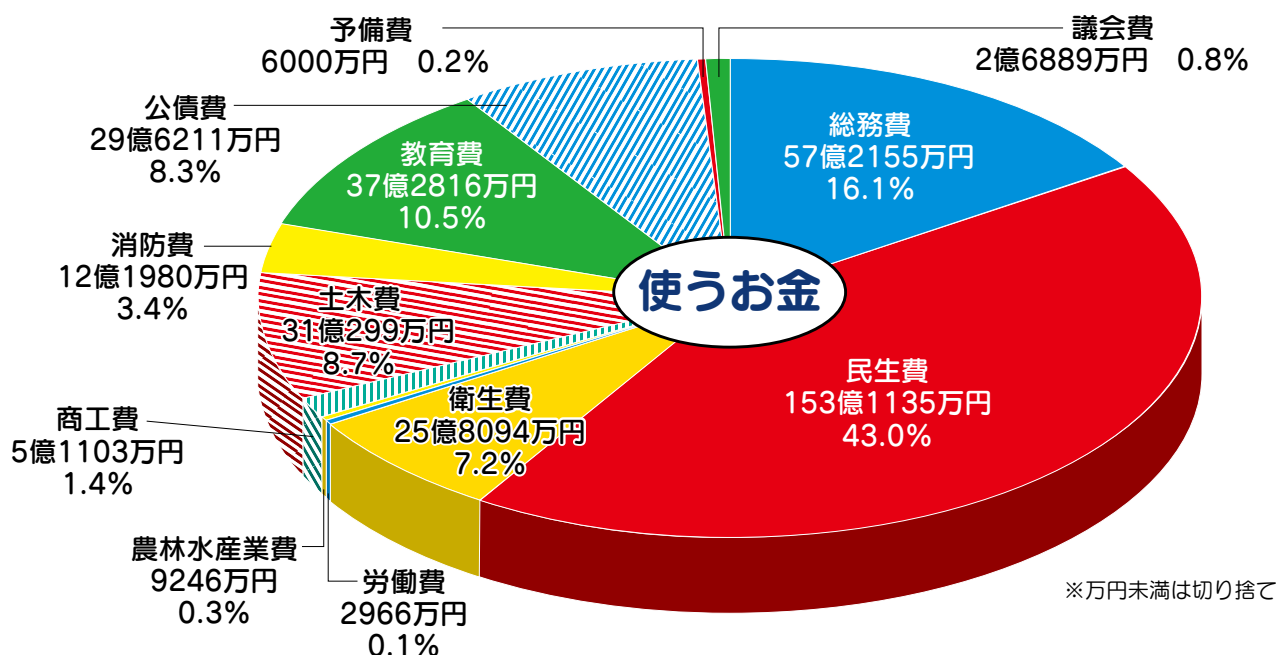
※ ◎委員長 ○副委員長 ☆委員 ★代表

審議結果一覧

令和元年第3回5月臨時会

議案番号	件名	議決結果	付託委員会
第29号議案	大野城市職員定数条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致 可決	総務企画委員会
第30号議案	大野城市税条例の一部を改正する条例の制定について	//	//
第31号議案	令和元年度大野城市一般会計補正予算（第2号）について	//	予算委員会
第32号議案	専決処分した事件の承認について（大野城市税条例の一部を改正する条例）	全会一致 承認	—
第33号議案	専決処分した事件の承認について （大野城市都市計画税条例の一部を改正する条例）	//	—
第34号議案	専決処分した事件の承認について （大野城市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	//	—
第35号議案	専決処分した事件の承認について （大野城市介護保険条例の一部を改正する条例）	//	—
第36号議案	大野城市監査委員の選任について	全会一致 同意	—
	筑慈苑施設組合議員の選挙	指名推選	—
	福岡都市圏南部環境事業組合議員の選挙	//	—
	閉会中における所管事務調査等の通知について （議会運営委員会）	承認	—

平成31年度一般会計予算



歳出総額 355 億 8900 万円

注目のポイントをピックアップ

民生費 前年度比4.0%増

- ◎大野北保育所建替事業 4億8303万円
現在の保育所を御笠川1丁目に移転し、建替を行う。定員は161人から195人へと拡充。
- ◎子ども医療費 3億9755万円
小学6年生までとしていた通院の助成を、2019年10月から中学3年生まで拡大。

教育費 前年度比18.9%減

- ◎小学校教育用コンピュータ整備事業 1億6514万円
- ◎中学校教育用コンピュータ整備事業 1億2523万円
パソコン室のデスクトップパソコンをタブレットパソコンに入替。

総務費 前年度比16.8%増

- ◎シビックゾーン整備事業 3億8766万円
 - ①災害発生時の防災拠点やまどかフロアの拡充
 - ②まどかびあ南側と総合福祉センター北側のバス専用乗降レーン整備
 - ③県警大野待機宿舎跡地と県有地の用地購入

土木費 前年度比3.0%減

- ◎自転車活用推進計画策定事業 1008万円
- ◎無電柱化推進事業 100万円
- ◎高架下有効利用及び市街地活性化計画検討事業 580万円

予算委員会（当初予算）

第11号議案

「平成31年度大野城市一般会計予算について」

Q バスレーンの整備工事について

A 安全に乗降できるように、まどかぴあと総合福祉センターの間に大型バス3台が入れるように整備する。



Q 東地区高齢者移動支援事業について

A 東地区では高齢化率が20%を超え、限られたコミュニティバスの路線だけでは高齢者の移動手段の確保が困難なため、車を1台購入し、コミュニティ活動活性化交付金で運転手の報償金の5分の4を補助することで、地域の高齢者の移動支援を行うことを協議している。

南地区のふれあい号をモデルケースとし、2コース、午前中2便と午後2便で計画している。

Q コミュニティ活動活性化交付金について

A 各地区のコミュニティの地域住民が自ら住む地域の課題解決や目指すべき将来像を実現するため、コミュニティ運営協議会で、コミュニティ別にまちづくり計画を策定しており、その計画に基づいた事業を市として支援する事業。各地区で計画の策定を進めているため事業に対する計画内容や金額は地区で異なる。

Q 保育施設事故防止推進事業について

A 導入を検討している器具は、小さなセンサーを児童の衣服に取り付け、そのセンサーからタブレットに児童の状態の情報を送るもの。対象はゼロ歳児としている。

この事業は国の補助事業で平成29年度に開始された。今後、本市の各保育施設に補助事業の説明を行い導入を勧めていく。

Q 生活保護の未就労者就労支援プログラムの参加者と成果について

A 平成28年度が79名、平成29年度が93名と伸び、就職決定者数は、平成28年度が33名、平成29年度が53名と、こちらも同じように伸びている。安定した就労をして自立してもらうことを目標としており、平成28年度は2名、平成29年度は8名であり約20%弱の方が就労自立廃止となっている。

Q 敬老祝い金の減額について

A 高齢者への敬意と見守り活動を兼ねて、来年度も手渡しで考えている。高齢者数の増に伴い費用も増額するため、財政負担を考慮し、今もらっている金額が上がる時期を5年間で少し遅くすることで、総額の費用が膨らみ過ぎないように変更する。現在祝い金を受け取っている方が減る、なくなることはない。

Q 避難所サイン整備事業について

A 施設の避難所サインや、その施設まで案内する誘導サインを整備。現在、避難所のサインやマークが統一できていない部分もあるため、内閣府が示すサインに基づき避難所のサインをつけ替え、誘導サインを新しく設置する。

入り口から見えにくい場合には、入り口付近に別途サインを設け、誘導サインは、既存の施設誘導サインとは別に、効果的な場所につけていく。

緊急避難場所

避難所

避難所兼
緊急避難場所



Q 小中学校教育用コンピューター整備事業について

A 現在各校にあるデスクトップパソコン40台を全てタブレットに入れかえ、指導者用として1台加え、各校41台の整備になる。ただし、平野中は、コンピューター室が2教室あるため80台。

審 議 結 果 一 覧

平成31年第1回1月臨時会

議案番号	件 名	議決結果	付託委員会
第1号議案	訴えの提起について	賛成多数 可決 (賛成18・反対1)	都市環境委員会
第2号議案	平成30年度大野城市一般会計補正予算(第8号)について	賛成多数 可決 (賛成18・反対1)	予算委員会

賛否の分かれた議案(平成31年第1回1月臨時会)

会派名	改革フォーラム				自民大野城				自民まどか				公明党				会派に所属していない議員			
議員氏名	松崎 正和	関岡 俊実	松田 美由紀	福澤 信光	山上 高昭	天野 嘉久孝	井福 大昌	平井 信太郎	田中 健一	高山 やす子	森 和也	中村 真一	関井 利夫	井上 正則	白石 重成	河村 康之	大塚 みどり	清水 純子	松下 真一	松崎 百合子
第1号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	●	○
第2号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	●	○

(○：賛成、●：反対、-：議長は表決に加わらないため)

審 議 結 果 一 覧

平成31年第2回3月定例会

議案番号	件 名	議決結果	付託委員会
第3号議案	大野城市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致可決	福祉文教委員会
第4号議案	大野城市子ども医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃
第5号議案	大野城市子どもに最適な学期制審議会設置条例の制定について	〃	〃
第6号議案	大野城市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃	都市環境委員会
第7号議案	大野城市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃
第8号議案	市道路線の認定について	〃	〃
第9号議案	指定管理者の指定について(コミュニティセンター)	〃	総務企画委員会
第10号議案	大野城市固定資産評価審査委員会委員の選任について	全会一致同意	-
第11号議案	平成30年度大野城市一般会計補正予算(第9号)について	全会一致可決	予算委員会
第12号議案	平成30年度大野城市国民健康保険特別会計補正予算(第5号)について	〃	〃
第13号議案	平成30年度大野城市介護保険特別会計補正予算(第5号)について	〃	〃
第14号議案	平成30年度大野城市後期高齢者医療特別会計補正予算(第5号)について	〃	〃
第15号議案	平成30年度大野城市水道事業会計補正予算(第5号)について	〃	〃
第16号議案	平成30年度大野城市下水道事業会計補正予算(第5号)について	〃	〃

議案番号	件名	議決結果	付託委員会
第17号議案	平成31年度大野城市一般会計予算について	賛成多数 可決 (賛成18・反対1)	予算委員会
第18号議案	平成31年度大野城市国民健康保険特別会計予算について	全会一致可決	〃
第19号議案	平成31年度大野城市介護保険特別会計予算について	〃	〃
第20号議案	平成31年度大野城市後期高齢者医療特別会計予算について	〃	〃
第21号議案	平成31年度大野城市公共用地先行取得事業特別会計予算について	〃	〃
第22号議案	平成31年度大野城市土地区画整理清算金特別会計予算について	〃	〃
第23号議案	平成31年度大野城市水道事業会計予算について	〃	〃
第24号議案	平成31年度大野城市下水道事業会計予算について	〃	〃
第25号議案	福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の増減及び福岡県市町村職員退職手当組合同約の変更について	〃	総務企画委員会
第26号議案	公用車の交通事故による損害賠償の額の決定及び和解について	〃	〃
第27号議案	平成30年度大野城市一般会計補正予算(第10号)について	〃	予算委員会
第28号議案	平成31年度大野城市一般会計補正予算(第1号)について	賛成多数 可決 (賛成17・反対2)	〃
報告第1号	専決処分の報告について(公用車の交通事故による損害賠償の額の決定及び和解について)	報告	—
委員会報告	福祉文教委員会	〃	—
最終報告	市民に開かれた議会をつくる調査特別委員会	〃	—

賛否の分かれた議案(平成31年第2回3月定例会)

議員氏名	改革フォーラム				自民大野城				自民まどか				公明党				会派に所属していない議員				
	松崎 正和	関岡 俊実	松田 美由紀	福澤 信光	山上 高昭	天野 嘉久孝	井福 大昌	平井 信太郎	田中 健一	高山 やす子	森 和也	中村 真一	関井 利夫	井上 正則	白石 重成	河村 康之	大塚 みどり	清水 純子	松下 真一	松崎 百合子	
第17号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	●	○	
第28号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	●	●

(○：賛成、●：反対、-：議長は表決に加わらないため)

－ 陳情関係 － (全議員に写しを配布)

陳情第1号	学校図書館図書整備等5か年計画に基づく学校図書館への新聞配備のお願い
陳情第2号	全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の主旨に基づいて、地方自治の根幹を脅かす日米地位協定の見直しを国に求める意見書を提出する事を求める
陳情第3号	奥山等のスギ・ヒノキ放置人工林を、森林環境譲与税(仮称)で順次計画的に皆伐を進め、天然林に戻すことを求める陳情書

委員会報告

～主な審査内容～

総務企画委員会

第9号議案

「指定管理者の指定について（コミュニティセンター）」

Q 4つのコミュニティセンターにあるNPO法人が合併する目的はなにか

A 一つの法人になることで組織体制と財政面を強化する。

Q 財政面の強化とは

A 今までは会費をいただいていたが、今後は個人、団体から会費をいただく。その他の具体的方策は新NPO法人で検討してもらう。

Q 組織体制の強化とは

A 今までは4つの独自性を持っていた中で、地区ごとに強い部分と弱い部分に差が出る状況もあった。施設管理部、事業部、総務部の3部体制に組織を改正し、指揮命令が一本になることで、同じ事業を展開でき、市全体での施策がより強化できる。

Q 合併により各コミュニティセンターの独自性が失われるのではないかと

A 指定管理事業の目的である中間支援組織としての活動に差が出てきており、合併によりこの部分を強化する。また、コミュニティ運営協議会がコミュニティ別に計画等をつくっているため、独自の施策が展開されると考えている。

Q 新NPO法人の総務はどこに置くのか

A 総務は、南コミュニティセンターに置いてスタートするが、この先の組織展開により移動することも考えられる。



福祉文教委員会

第4号議案

「大野城市子ども医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について」

Q 医療費助成が小学6年生までから中学3年生までの拡大による年間経費は

A システム改修費、補助費を含め約2215万円を見込んでいる。

第5号議案

「大野城市子どもに最適な学期制審議会設置条例の制定について」

Q 条例を制定する根拠や理由は

A 現在は3学期制だが、平成14年の学校完全週5日制開始以降、近年の近隣市等の学期制度の動向を鑑み、子どもにとって最適な学期制を検討することを目的としている。

Q 近隣市の小中学校の学期制の状況は

A 筑紫野市は、小学校が2学期制、中学校は3学期制。太宰府市は、小中学校ともに2学期制。那珂川市は小学校が2学期制、中学校が3学期制。春日市は、小学校が2学期制、中学校も2学期制だが1校のみ3学期制を実施。

Q 学期制の審議期間はどれくらいか

A 2019年度末、3月には結論を出したいと考えている。



都 市 環 境 委 員 会

第6号議案

「大野城市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について」

Q 保証人の要件緩和で、保証人を立てる場合と立てない場合があるが、立てないといけない場合とは

A 保証人を立てる、立てないは借りる人の選択制で、保証人を立てる場合は無利子、立てない場合は1%での貸し付けとなる。

Q 災害弔慰金の貸付金額に上限は

A 貸付限度額は基本的に350万円までになっている。貸し付け要件は被害状況により金額が細かく規定されている。

第7号議案

「大野城市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について」

Q 水道環境の事項が削除されたとは

A 水道環境の科目が、上水道及び工業用水道の科目に統合された。

第8号議案

「市道路線の認定について」

Q 乙金東2丁目の寄付採納に伴い市道にした道路は市としてメリットはあるのか。

A 私道のため、上下水道整備ができない状態が長年の懸案であったが、市道認定することで上下水道が整備され住環境が充実し住民サービスの向上に繋がると考えている。



予 算 委 員 会 (補 正 予 算)

第11号議案

「平成30年度大野城市一般会計補正予算(第9号)について」

歳入歳出予算の総額にそれぞれ4億5058万1000円を増額

補正後の歳入歳出予算の総額を359億1139万円とするもの

Q 平野台2丁目の災害復旧事業が遅れている理由は

A 一点目の理由が、芝を張ったりコンクリートで覆ったりなどの工法の検討に時間を要したため。二点目の理由が、工事を発注する際の一回目の入札が不調となったため。梅雨前までには対策工事を完了する予定。

Q コミュニティバス運行事業補助金の減額の理由は。また、東地区の増便について

A 今年度10月に東部ルートを33便に増やす予定で予算を組んでいたが、西鉄との協議で、運転手不足等の理由により、増便ができなかったため、その分を今回減額した。

4月から東部ルートについては、6便の運行が12便に増便と、東コミュニティセンター及び乙金イオンに回るようなルートの変更等を行うこととなった。

Q 日本脳炎予防接種者が増えている理由は。また、予防接種の回数は

A 日本脳炎は4回接種を標準とし、3歳、4歳、9歳が標準接種時期として言われているが、千葉で生後10ヶ月の子どもが罹患した事例を受けて、日本小児科学会が生後6ヶ月から日本脳炎の予防接種を推奨しているため。



代表質問 ～ 大野城市長の考えを問う ～

※代表質問とは・・・市長の施政方針及び所信表明等に関して、会派から代表者を立てて質問を行うもの。

会 派	所属議員	質問項目
自民まどか	・田中 健一 ・高山 やす子 ④森 和也 ・中村 真一 ・関井 利夫	1. 施政方針について
自民大野城	・山上 高昭 ・天野 嘉久孝 ・井福 大昌 ④平井 信太郎	1. 平成31年度 施政方針について
改革フォーラム	・松崎 正和 ④関岡 俊実 ・松田 美由紀 ・福澤 信光	1. 幼保無償化による財政負担の見通しと待機児童の解消等について 2. 外国人共生環境の整備について 3. 西鉄連続立体交差事業の費用の増額に対する財政計画の見直しと駅周辺の整備事業計画について 4. 公共施設等総合管理計画の策定について 5. 改正水道法に対する本市の姿勢について
公明党	・井上 正則 ・白石 重成 ・河村 康之 ④大塚 みどり	1. 平成31年度施政方針について

定住促進による 転入超過施策について

自民まどか

④問 「定住促進」というキーワードが重要な柱になると言われたが、本市に人を呼び込むための効果的な事業とは、具体的にどのようなものか

④答 大野城市を訪れてみたい、大野城市に住んでみたいと思っただけのためには、本市の魅力や価値を伝え、本市の知名度やイメージの向上を図っていく必要がある。対外的なPRや広報活動などを軸とした積極的な情報発信を展開していくことが重要な取り組みであると考えている。

④問 本市も、近い将来は人口減少に転じると予想されているが、「大野城市に住みたい」と思っただけのように、様々な魅力化施策を推進して、転入超過を目指さなければならぬのではないかと。住宅購入支援メニューのような、支援施策が必要ではないかと考えるが、本市のお考えをお伺いする

④答 全国的に少子高齢化が進展する中、本市は今後もしばらく人口

の緩やかな増加傾向が続き、その後減少に転じる見込み。人口は自治体経営の維持にとって非常に重要な要素であり、国や全ての自治体は、進行する人口減少問題を避けることなく、克服していかなければならない。住宅購入支援メニューは、転入促進のための取り組みであるが、若い世代の定住促進は、不動産市場を活性化していく点も重要である。本市が置かれている状況や、有効な支援策などを言め、前向きに調査・研究する。



▲映像はこちら

平成31年度 施政方針について

自民大野城

問 「県警大野待機宿舎跡地」について

答 今後、心のふるさと館等の利用者の増加が見込まれるので、2019年度中に県から買い上げ、駐車場として整備する。

問 西鉄連続立体事業後の無電柱化について

答 白木原下大和線において、高架事業の仮線撤去後に無電柱化事業に着手し、2023年度の完成を目指す。県道現人橋之金線において、県に無電柱化を要望している。

問 「万全な危機管理体制」とは具体的にどのようなものか

答 大雨や地震などの自然災害のほか、外国からの攻撃やテロなどの武力攻撃事態など、あらゆる事象を想定し、いかなる場合でも、市民の生命や財産を守る広域かつ多角的な危機管理体制が「万全な危機管理体制」である。

問 小中学校の現行の「3学期制」と「2学期制」を問う「学期制審議会」について

答 「学期制審議会」を2019年度当初に設置する予定である。審議会で審議を行い、その答申をもとに2020年3月までに結論を出す予定で、児童・生徒にとって最適な学期制となる施策を展開する。

問 「自転車活用推進計画」に自転車保険は含まれているか

答 自転車に関する交通ルールなどの安全教育や事故の加害者になった時のリスク周知を行い、損害賠償責任保険などの加入促進についても検討を進める。



▲映像はこちら

幼保無償化と改正水道法の対応について

改革フォーラム

問 幼保無償化の財源見通しと待機児童の解消に向けた取り組みについて

答 幼児教育の無償化については、少子化対策に一定の効果があるものと考えている。本年10月から開始されるが、半年間の地方負担分の財源については、全額国費による対応がなされ、来年度以降についても、地方交付税などにより財源が確保されることとなっている。今後、全国一律に行われる無償化については、財源の確保に万全を期していく。待機児童の解消については、年次的に保育定員の拡充を進めてきた。本年4月には幼稚園2園の認定こども園への移行などにより219人の定員拡充を行う予定としている。

問 改正水道法に対する本市の姿勢と上下水道施設の老朽化に伴う整備と財政計画について

答 水道事業は市民生活に必要な不可欠なライフラインとして、地域住民の生命と暮らしを守るという重要な役割を担っていることから、行政がみずから責任と使命を持って行うべきものと考えている。水道施設について、水道施設再編計画及び更新計画、下水道施設については下水道ストックマネジメント実施計画に基づき、計画的に整備を進めていく。また、財政計画は、上下水道事業全般について健全な運営ができる見通しを立てている。



▲映像はこちら

平成31年度施政方針についての見解を問う

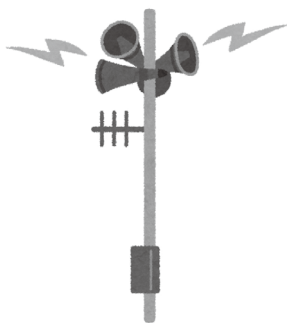
公明党

問 白木原下大和線において、無電柱化を行うための調査実施について

答 市施行による無電柱化については白木原下大和線以外の道路で行う予定はないが、県道現人橋之金線の無電柱化について県に対して要望活動を行うこととする。

問 防災において、被害を最小限に止め、万全な危機管理体制を整えるための取り組みについて

答 災害情報伝達システムによる屋外拡声子局からの放送が、屋内では聞き取りにくいという課題を持っている。戸別受信機の導入やコミュニティFM局の開局など、災害情報の伝達のあり方について研究を進め、性能やコスト面も含めて、最も適した手段を提案したい。



問 ブロック塀などの撤去に対する補助について

答 ブロック塀等撤去費補助制度は、最大で15万円補助する。撤去費を補助するだけでは、地震で倒壊するおそれがあるブロック塀の改善が進まないことも考えられる。フェンス設置の補助制度など、さらに調査・研究を行う。

問 学校図書支援の行政・学校・読書ボランティアの相互連携強化の取り組みについて

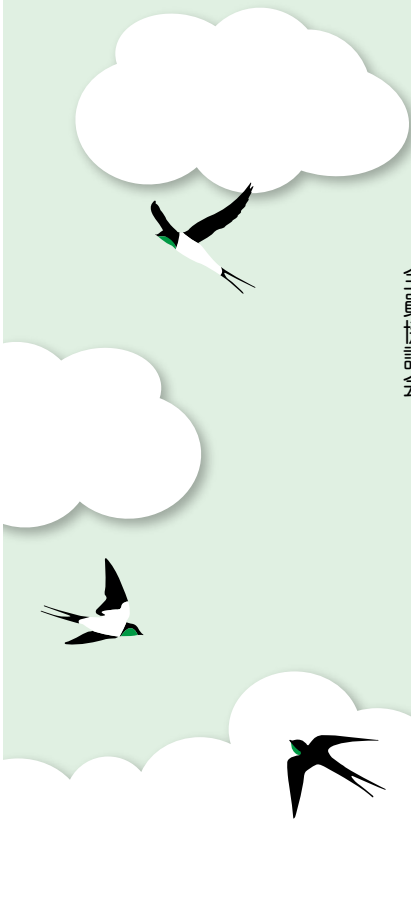
答 行政が主催して実施している読書ボランティアアスキルアップ講座に、今後は、学校関係者や教育委員会も参加をし、行政、学校、読書ボランティアが一体となった学校図書支援のための方法を検討していく。



▲映像はこちら

◆ 議会の動き ◆

- 1月21日 議会運営委員会
- 28日 本会議(臨時会)
- 2月15日 議会運営委員会
全会協議
- 2月22日 議会代表者会議
市民に開かれた議会をつくる調査特別委員会
本会議(初日)
全会協議
- 3月4日 本会議(2日目)
議会運営委員会
総務企画委員会
福祉文教委員会
都市計画委員会
予算委員会
- 5日 都市計画委員会
福祉文教委員会
予算委員会
- 6~7日 予算委員会
- 11~12日 本会議(3日目、一般質問)
市民に開かれた議会をつくる調査特別委員会
本会議(4日目、一般質問)
- 13日 本会議(最終日)
全会協議
- 14日 議会運営委員会
本会議(最終日)
全会協議
- 19日 全会協議



一般質問 ～ これからの大野城を問う ～

注：★がついている内容を掲載しています。なお、各議員の最後にあるQRコードから映像を見ることができます。

森 和也

- ★コミュニティバス運行事業の推進について(平成27年6月)
- まちぴか市民運動と一般廃棄物処理について(平成27年9月)
- 防災・防犯(安心・安全のまちづくり施策)について(平成27年12月、平成28年3月)

田中 健一 ★大野城の未来づくりについて

河村 康之

- 公共施設の防犯カメラの設置について
- ★市民からの情報提供におけるLINEの活用について

松田美由紀

- ★データヘルス計画について(平成28年6月定例会)
- 骨髄バンクドナー支援制度について(平成28年12月定例会)
- 市民公益活動促進プラットフォーム(まどかぷらっと)について

松崎百合子

- 高齢者の健康支援といこいの里の時間延長について
- ★子どもの貧困防止と学習支援について

松下 真一 ★住民要求への対応の進捗状況について

大塚みどり

- ★ICT環境整備について
- 防災・減災について

清水 純子

- 水道法の一部改正について
- 学区区制について
- 男女が安心して働き続けるために
- ★外国籍住民との共生社会について
- 下大利駅東土地区画整理事業関連について

まどか号を 市南側地区にも走らせたい!

森 和也



問 中央地区南側と南地区に、コミュニティバス「まどか号」を運行することはできないか。できないならば、それはなぜか

答 近年では、バス運転士の不足や、働き方改革に伴う労働条件の変更など、厳しい社会情勢があり、西鉄は利用者が少なく赤字幅の大きい路線バスを減便する方針である。

本市においても、南地区の路線バスの一部で減便が行われているが、このような状況や、高齢化に伴う社会状況の変化等を考慮すると、将来的に公共交通空白地の再検証を行うなど、本市のバス交通全般を見直す必要があると考える。その中で、中央地区の南側や南地区でのコミュニティバスの運行についても検討を進めていきたい。

問 福岡市では、高齢者乗車券という事業を行っているが、このような施策はできないか。福岡市は事業を行っているのに、本市ができないのはなぜか

答 福岡市と同様の高齢者を対象とした乗車運賃助成制度の導入については、交通事業者など関係機関との協議・調整やその財源など、多くの課題があることをご理解いただきたい。

本市の高齢者施策においては、移動支援策などを強化していきたいと考えており、全ての高齢者の方に公平なサービスを提供するという視点を持って、今後調査・研究していきたい。



▲映像はこちら

大野城の未来づくりについて

田中健一



問 豪雨災害や地震に強いまちづくりを推進すべきと考えるが、どうか

答 県が実施している御笠川上流の筑紫野地域の河川改修事業に目途がつき次第、大野城市域の河川改修に着手する予定。

地震対策は、本市東地区に被害が多くなると想定されています。議員から紹介された大学教授等の専門家の意見を取り入れながら、よりよい防災のまちづくりを進め、その後は東地区をモデルとして、市域全体に広げられるよう努める。

問 西鉄天神大牟田線高架事業による周辺のまちづくりは、どのようになっているのか

答 令和2年度末に高架切りかえ、令和2年度に事業完了の予定。

下大利駅東線は、UR都市機構が下大利団地を団地再生事業の対象に位置づけたことから、地元区との協議を進め、関係者のご理解とご協力を得ていきたいと考えている。

問 九州大学との連携を強力に推進し、多くの様々な行政課題を解決すべきと考えるが、どうか

答 高度化また複雑化していく行政課題に対応するため、来る3月18日に九州大学と大野城市の包括的な連携協定を締結する。

連携内容は、九州大学と大野城市が有する資源の相互活用や九州大学と大野城市民との交流の推進、また筑紫キャンパス周辺地域の環境整備とまちづくり等が考えられる。



▲映像はこちら

LINEを活用し「いじめ」等の相談の推進を

河村康之



問 情報発信のLINEとは具体的にどのようなものか

答 LINEは、利用者同士が相手登録しメッセージのやりとりなどが行える、スマートフォンからの利用を前提に開発されたサービス。本市ではイベントや災害などの情報発信にLINE等のSNSを活用している。

問 道路や歩道のふぐあい箇所特定と破損の程度が速やかにわかるよう、本市もLINEを活用して、市民からの情報提供を行ってみてはどうか

答 LINEを活用した情報提供は、現場の状況写真や位置情報など、詳しい状況を速やかに収集でき、手軽に送信できるメッセージがあると認識している。LINE活用を進めるには、リアルタイムに対応できる人材体制の確保や、通報者の個人情報取り扱いなど関係課と協議し、今後調査・研究を進めたい。

を行っている自治体もあるが、本市ではどう考えるか

答 子どもたちに気軽に話す勇気を持たせ、相談したい勇気を湧き立たせるために、LINEを初めとしたSNS等の活用は大切だと思っている。子どもたちが大人に相談するという心理的なハードルを下げ、「いじめの早期発見」につながるものであると考え、他自治体で既にLINEを活用した事例を参考にしながら、今後実践内容や効果等を調査・研究していきたい。



問 LINEを活用し子どもたちの「いじめ相談」や「悩み相談等」



▲映像はこちら

受診率向上と 早期発見につながるには

松田 美由紀



問 特定健診未受診者対策について

答 平成30年度新たに受診率が低い2区を選定し、職員による訪問での受診勧奨を実施している。データヘルスにより可能となった、かかりつけ医を通じた受診勧奨事業では、生活習慣病で治療中の方に対し、医療機関で必要な検査を実施し、結果を提供してもらうことで情報収集を行っている。

問 胃がん検診の集団健診と個別健診の受診状況は

答 平成30年度は、集団健診の胃バリウム検査を2139人が受診し、個別健診の胃力メラ検診は、開始から7カ月間で1086人受診をしている。

問 乳がん検診・子宮頸がん検診の個別健診実施について

答 ささまざまなニーズを踏まえながら、がんの早期発見、早期治療につながるように、乳がん検診の個別実施について今後も検討する。

問 健康ポイント制度の導入について

答 市民が対象事業に参加することでポイントが貯まり、貯まったポイントを特典と交換できる仕組み。対象事業は、特定健診やがん検診などの検診の受診と、健康運動教室などの健康づくりへの参加としている。制度は、2019年度集団健診の開始時期に合わせ、6月から開始予定。



▲映像はこちら

子ども達の夢と未来へ 学習と食の支援を！

松崎 百合子



問 「夢とみらいの子どもプランⅢ」案で子どもの貧困状況は

答 過去1年間に経済的理由で必要なものが買えなかったり支払いが遅れたりと回答した経済的に苦しい家庭は約1割。学校等の集金は4・5%、光熱水費は6・3%が支払いが遅れたことがあると回答。収入が少ない家庭はひとり親家庭の割合が高い。

問 貧困化が進んでいるのでは

答 中学生の就学援助は20%前後、小学生は19%前後で推移している。この状況から子どもの貧困が進んでいるとは判断できないと考える。

問 子どもの貧困防止について、「夢と未来の子どもプランⅢ」案の施策は

答 妊娠期、乳幼児期及び学童期の早い段階で重点的に取り組むこととしている。

問 貧困の連鎖を防止するために学習支援が重要と考えるが、国の生活困窮者自立支援制度を使っ

た県内の実施状況は

答 29市中15市が実施している。飯塚市では市内2カ所の公民館にて週1回4時間、大牟田市では市内3カ所にて週1回2時間の学習支援教室を開催。

問 学習と食の支援が4コミュニティ単位で必要だと考えるが

答 福岡県ひとり親家庭のための学習ボランティア事業、大野城学習支援室・かぼちゃの2つの学習支援が行われている。教室の実態やニーズの把握を行い、福祉や教育の部署と連携し、支援のあり方の調査・研究をしたい。



▲映像はこちら

住民要求への対応の進捗状況について

松下 真一



問 宝珠踏切の安全対策は

答 JR九州とは平成29年度に協議し、踏切部の拡幅は道路改良の機会を捉えて改良し、また、踏切遮断時間の短縮は現況を詳細調査することを確認した。

問 水城駅のバリアフリー化は

答 JR九州が対応すべき条件があるので、2020年度までに完了するための協議を進める。

問 西鉄新駅舎のバリアフリー化とホームドアの設置計画は

答 新駅舎はバリアフリー新法に適合した整備が進められているが、ホームドアの設置予定はない。しかし将来ホームドアを設置できる構造で整備されている。

問 市内の時差式信号は矢印式信号に改良できないか

答 信号機の改良は福岡県公安委員会が所管である。県警本部に問い合わせた結果、現在のところ、改良予定はないとの回答。

問 児童相談所や警察の連携に対する本市の役割は

答 こども健康課は虐待などのサインを見逃さないよう、児童相談所や警察、学校、市民の方から情報の集約管理を行うことについて適切に対応を進めている。

問 就学援助の支給項目に、眼鏡やコンタクトを追加できないか

答 眼鏡やコンタクトは生活保護制度による治療材料に位置づけられていないので、現在支給する考えはない。

問 給食費の完全無償化の考えは

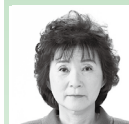
答 多額の費用が掛かることから、現在考えていない。支援が必要なる人には就学援助で対応する。



▲映像はこちら

学校ICT整備見解を全国レベルへ！

大塚 みどり



問 文部科学省では、各学校にコンピュータや情報通信ネットワークの情報手段を活用するため、「教育のICT化」に向けた5か年計画を策定。本市の整備状況は

答 教育用コンピュータ1台当たり児童・生徒数3・6人、電子黒板及び実物投影機1学級1台に対し、本市は教育用コンピュータ1台当たり児童・生徒数12・8人、電子黒板は各学校1台である。無線LANは整備され、発達に課題がある子どもの実態に応じタブレットを活用した学習を実施している。月2回、各学校にICT支援員を配置し、国の基準（4校に1人）を当てはめると10校に1人である。平成31年度に、各小中学校の40台のパソコンをタブレットへ切りかえる計画である。

問 ICT環境整備推進が明確化されていない。具体的に策定すべき、見解は

答 平成25年度策定の学校情報化基盤整備事業基本計画の更新の中で学校及び関係部署と協議しながらICT機器の整備方針を検討したい。下大利小は2日に1回、大野小は週1回パソコンを使える計算になるが、児童数の差がそのまま使用頻度の差になるとは考えていない。筑紫地区において教材開発、指導事例を作成し、どの学級でも同じように指導できる公平さを整える。タブレットをどう使うか明らかにされてなく、数も質も提示されていないと考える。

教育用コンピュータ
1台当たりの児童生徒数(人/台)

国の目標値	3.6人	
全国平均	5.6人	
福岡県平均値	7.4人	全国43位
大野城市	12.8人	福岡県 53位/63市町村



▲映像はこちら

清水 純子



問 国の政策により今後、外国籍の住民が増えることになるが、本市の外国籍の住民の実状は

答 平成31年1月末現在、41カ国710世帯、892人である。

問 小中学校の外国籍の児童生徒数と日本語指導の必要な生徒数とその対応は

答 小学生が20名、中学生5名で支援が必要な小学生は9名、中学生が2名で、日本語指導の必要な児童・生徒への対応は、県による日本語指導担当教員の配置と、本市で今年度から開始した小中学校日本語支援ボランティア派遣事業により、小学校に1名派遣して7名の指導を行っている。また、小学生2名、中学生2名には派遣されたボランティアが学校生活を円滑に送れるよう、授業の通訳やコミュニケーションの支援を行っている。

問 児童生徒や保護者の困りごと相談への対応は

答 日本語指導者からの連絡をはじめ、さまざまな立場の方から相

談を受け、学校生活が改善できるように取り組んでいる。

行政サービスに対しての困りごととは、国際化推進員や市職員が関係各課と連携し対応。生活全般については、大野城市国際交流協会での対応や、グローバルライフサポートセンターなどの専門機関を紹介している。

問 地域の人との交流の場が必要、その対策は

答 国際交流協会などと連携し、気軽に参加できる交流イベントなどを実施していく。



▲映像はこちら



◆平成30年度視察受け入れ◆

○訪れた議会・議員数
30市町議会247人

○主な視察内容

- ・ワンストップ総合窓口
「まどかフロア」
12件
- ・子ども食堂
4件
- ・統合型行政評価システム
(公共サービスDOCK事業)
2件
- ・大野城トレイル
〜自然と歴史の散策路〜基本計画
2件
- ・大野城市まちなか
わくわくパビリオン
2件
- その他の視察内容
- ・防災対策の取り組み
- ・地域ぐるみの支え合い
(地域包括ケアシステム構築)
- ・教育サポートセンター
- ・スポーツ振興の取り組み

など

作品紹介

短歌

- 束の間の時間も惜しく散歩中
川柳短歌俳句を詠みて
- 山茶花の葉っぱの陰で見え隠れ
幼い頃に見たメジロに似て
イッチ・ニ・サン教えて昇る階段を
14段をつまづきませず
(緑ヶ丘・平井静代さん)
- 幾光年輝く星の揺らぎをり四王子山に
しぐれ去りし夜
- 入りつ日に向ひて輝く菜の花の淡き黄の
いろゆれて香れり
(若草・高名稔さん)

川柳

- ちくし晴れ桔梗の花と大野城
- 行く春も乗せた早成終電車
(乙金台・泉満夫さん)
- ヨガの朝公民館に小鳥来る
- 天気予報あたりし風花の空
- 春近し空とおでこを吹く風に
(上大利・高本美智代さん)
- そうそうと思ってもらう句を目指し
- 水城から出土する土器宿る夢
- ああ見えて間もなく三十路まどかちゃん
- 地元産土の匂いがする野菜
(南ヶ丘・そごご)

俳句

- 卒園生楽しいですか校庭は
- 熊本城春風に押され力走か
- 春野菜頂きもので満腹に
(緑ヶ丘・平井静代さん)

～作品掲載希望者募集～

議会だよりでは、みなさんからいただいた作品を紹介します。

- 募集作品(未発表のものに限ります) ・俳句 ・川柳 ・短歌 ・写真
- 応募方法 住所、氏名、電話番号を記入して、議会議務局「議会だより作品募集」係へ郵送または直接窓口へ
(〒816-8510 大野城市曙町二丁目2番1号 Tel. 580-1938)
- 注意事項
 - ・未発表のものに限ります
 - ・人物の写真については、掲載の了解を得てください
 - ・提出された作品は、返却しません
 - ・ペンネームでも可とします



新しい
広報委員決定

より多くの人に読んで、見てもらえ
るように、分かりやすい議会だより。
議会ホームページを目指し、大野城
市議会に関する情報をお届けしま
す。



委員長
井上 正則



副委員長
福澤 信光



関井 利夫



原田 真光



渡邊 知之



平田 不二香

あんな

5月1日に元号が平成から令和へと変わり新たな時代も幕開けと同時に、大野城市議会も4月21日に選挙で選ばれた20名の議員による新たな体制でスタートいたしました。

今年統一地方選挙と参議院選挙が重なる年ですが、大野城市議会議員選挙では投票率が39.57パーセントと過去最低を更新し、残念ながら政治離れに歯止めがかりません。

政治は私たちの生活や未来と直結する、重要な決断が下される場です。少しでも多くの方に関心を持って頂いて、皆さんの声を市政へと届けられるよう大野城市議会議員一同が努めて参りますので宜しくお願いします。

(原田真光)

広報委員会

- 委員長 井上 正則
- 副委員長 福澤 信光
- 委員 井上 真光
- 委員 福澤 知之
- 委員 関井 利夫
- 委員 原田 真光
- 委員 渡邊 知之
- 委員 平田 不二香